

# 令和4年度「学校評価結果報告書」

学校法人 龍華学園  
森河内幼稚園

当園ではこの度、令和4年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価と関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

- あいさつや手洗い・食事、着替えなどの基本的な生活習慣、また、お友達との触れ合いの中で、誠実さや思いやりの大切さを学びます。
- さまざまなことに興味を持って取り組めるよう、心身の発達や、年齢に応じた指導を心がけています。
- それぞれの個性や感性を伸ばしながら、考える力を養い、豊かな表現力、想像力を育てます。

## II. 今年度の重点目標

- 安全管理体制の充実
- 保護者との関わり
- 外部との関わり

## III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1 安全管理体制の充実	遊具・備品の定期チェックや危険箇所の確認など、基本的な安全管理体制の充実を図る。	A 毎朝担当の職員が玩具の点検をし、危険がないかを確認することで、危険箇所を未然予防することができた。また、令和4年度は園庭の網の張替えや新しい戸外遊び用の遊具を在園記念品代より購入した。 月に1回程度は各担当に任せるのではなく、全員で意見を出し合いながらチェックする時間をもうけることを検討する。
	猫の侵入自体を防ぐ対策を検討する。	B 外部からの侵入を防ぐためにフェンスの隙間をふさいだり、子供たちや職員のくつ箱にガードをしたり、砂場にカバーを付けて入れないようにした。 改善が進んでおり、侵入自体は減っているものの猫のフンが見受けられたため、対策を検討する。
	時期的なものや子どものメンタルが要因となるケガが増えているので、改善策を検討する。	C 園庭内でケガをしやすい場所を把握しており、職員同士で連携を取りながら未然に防いでいる。子どもたちへの声かけや保護者との相談を重ねて極力ケガの発生がないように取り組んでいる。 ケガや事故が発生した場合は報告書を作成し、振り返りながらケガや事故の傾向を把握し、改善を重ねていく。

# 令和4年度「学校評価結果報告書」

学校法人 龍華学園  
森河内幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況
2	保護者との関わり	昨年度に保護者会を廃止し係を新設した。保護者の声を聞ける仕組みを別で検討する。	B 保護者とは降園時、必ず担任と話をしてから帰るようにしている。また、行事のお手伝いをしていただいた方へのアンケートを実施し、有意義な意見を聞くことができた。保護者会を廃止したことによる保護者への負担も軽減できたよう思う。その分、職員への負担は増えたので、役割分担について整理する必要があると考えている。
3	外部との関わり	コロナにより制限があった地域との関わりや外部施設（老人ホーム・他園）との提携を図る。	C 運動会で人数制限を解除し、3年ぶりに秋祭りを実施した。地域の地車を園児と職員で曳くことができた。また、いちご組（未就園児クラス）を開催し、少数ではあるが、参加する親子の姿も見られた。今後もコロナ以前に実施していた取組みが行えるように検討していく。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1	安全管理体制の充実	さすまたの使い方等、外部機関に依頼しての研修や勉強会を実施する。
2	保育の質の向上	他園の公開保育に職員を選出して参加し、園内でディスカッションして今後の保育に活かす。
3	コロナ後の対応	コロナ渦で開催できなかった地域との関わりや安全管理の対策について検討する。
4	職場環境の向上	保護者会の廃止や施設型給付の幼稚園に移行したこと等を踏まえた上で業務量の分担や効率化を検討する。
5	外部への情報発信	入園案内の刷新やインスタグラム、新たなホームページの作成を検討し、園の認知度を高める。

# 令和4年度「学校評価結果報告書」

学校法人 龍華学園  
森河内幼稚園

## V. 学校関係者の評価

様々な行事が再開されていく中で、地元地域に根付いた取り組みや地域の方々との交流は、地域の子も達を地域で育てるという点において、大きな特色であると感じます。このことは、子ども達も地元地域を愛し、大切にしようとする心をはぐむ環境の醸成に大きな役割を果たしていると言えます。

今後は貴園の教育方針に則り、特色ある取り組みを推進されながら、愛情をたっぷり注いでもらった子どもたちが未来へと巣立っていかれることを期待しております。

<森河内小学校 校長>

取り組み内容については問題が生じた時点で話し合い、色々な方向から解決策を考え、実行されていると思います。成果についてはまだ、現れていない事柄もありますが、努力されていると思います。

少子化に伴い、保護者や地域の方々との関わりにも変化があると思いますが、園児ファーストの考えと愛情のある保育、地域のアウトホームな幼稚園として頑張っておられると思います。コロナ禍の厳しい状況ではありましたが、これからも安全を考えながら楽しく登園できる園であると思います

<評議員>

安全管理の大変さが年々増すご時世の中、先生方には大変な重圧がのしかかると思います。玩具・遊具の点検、危険な場所の確認、さすまたの使い方などの努力をされていると思います。

感染症で世間が停滞している中でも森河内幼稚園はストップせず、できることをできる方法毎に模索し、実行されていく姿は素晴らしいと思いました。これからも更に「楽しさいっぱい！」を形にしていってください。

<絵画造形指導講師>

通常保育だけでなく、運動教室、絵画教室など、子どもの興味に寄り添って保育されています。預かり保育ではさらに自由度が高く、自分の興味を製作やお友だちとの遊びを通していい刺激になっていました。

<保護者>

シンプルな教育方針のもと、子ども1人1人に沿った指導を心がけて下さっています。先生においても親身な方ばかりで気になったことを気軽に聞くことができます。行事は季節感を大事にされており、地車を引いたり、運動会では近くの小学校を使うなど、子どもが地域になじみやすいのも嬉しく思っております。

<保護者>

以上